



InterView
FP opinion
Vol.40

いじめられっ子だった少年時代
柔道との出会いが転機に

——今回、お話を聞かせただけのは、NHK総合番組『応援ドキュメント 明日はどっちだ!』でも有名な、元プロボクサー米澤重隆さんです。この番組は「明日の见えない時代に、明日に向かって頑張る人を応援する」をキャッチフレーズにした連続ドキュメンタリーです。プロボクサーとして年齢制限ギリギリの33歳から37歳まで戦い続けた米澤さんの姿に、多くの視聴者が勇気づけられ、力をもらいました。米澤さんは、どうやって困難に打ち勝つ力強さを身につけられたのか。私たちは、どうすれば米澤さんのように、夢にチャレンジし続けられるのか、ぜひ、うかがいたいと思います。

米澤 子どものころから強かったわけではないんですよ。小学校低学年のころは、クラスに1人や2人はいるタイプの、身体は大きい

「“昨日の自分より今日の自分が強くありたい”、強さの秘密は日々の積み重ねから」

規定ギリギリの33歳でプロボクサーデビューを果たし、“定年”37歳まで戦い続け、NHK総合『応援ドキュメント 明日はどっちだ!』への出演でも話題を集めた、元ミドル級プロボクサーの米澤重隆氏。「人生における挑戦」をテーマに、アマチュア・レスリングの選手時代からプロボクサーに至るまでの人生の道のりをうかがった。

編集部=聞き手・構成 大野真人=写真

元プロボクサー 東洋太平洋プロボクシング連盟ミドル級14位
青木ボクシングジム所属
米澤重隆
氏
Sigetaka Yonezawa

けれど気の弱い男の子でした。運動会も大嫌いでした。とにかく運動神経が他の子どもたちより劣っていて、でんぐり返しもできませんでした。そんな子どもでしたから、当時は周りからいじめられていたんです。クラスの中で他の子どもたちから無視をされることもよくありました。

転機が訪れたのは小学校5年生のときでした。吹奏楽部の上級生が柔道をやっていて、誘われたのがきっかけでした。柔道を始めたといっても目立った成績を残したわけではありませんでしたが、身体を動かすことを通じて、少しずつ、内向的だった性格が明るく変わっていったように思います。